

DRUG



INFORMATION

2009 No. 31

平成21年12月4日発行

1. 医薬品の採用・中止・変更について 1
 －平成21年12月3日 薬事委員会結果報告－
2. 新規登録医薬品情報 3
 - －新規採用医薬品－ 3
 - －製剤変更医薬品－ 4

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp (担当：安田)

採用(新規試用)医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
アボルブカプセル 0.5mg(デュタステリド)	5 α 還元酵素阻害薬/前立腺肥大症治療薬
オラペネム小児用細粒 10%(テビペネムピボキシル)	カルバペネム系抗生物質製剤
ボノテオ錠 1mg(ミノドロネ酸水和物)	骨粗鬆症治療剤
ミヤ BM 細粒(宮入菌)	生菌製剤
ラジレス錠 150mg(アリスキレンフマル酸塩)	直接的レニン阻害剤
リフレックス錠 15mg(ミルタザピン)	ノルアドレナリン・セロトニン作動性抗うつ剤
アズマネックスツイストヘラー100 μ g60 吸入(モメタゾンフランカルボン酸エステル)	吸入ステロイド喘息治療剤
ルミガン点眼液 0.03%(ビマトプロスト)	プロスタマイド誘導體 緑内障・高眼圧症治療剤
アクラシノン注射用 20mg(アクラルピシン塩酸塩)	抗腫瘍性抗生物質

※ 平成 21 年 12 月 22 日より処方開始予定です。

採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
コナン錠 10mg(キナプリル塩酸塩)	組織 ACE 阻害型降圧剤
バイシリン G 顆粒 40 万単位(ベンジルペニシリンベンザチン水和物)	ペニシリン系抗生物質
ミケラン LA カプセル 15mg(カルテオロール塩酸塩)	徐放性 β 遮断剤
フエナゾール軟膏 5%(ウフェナマート)	抗炎症鎮痛皮膚疾患用剤
ミケラン点眼液 1%(カルテオロール塩酸塩)	緑内障・高眼圧症治療剤
サヴィオゾール輸液 500mL(配合剤)	血漿代用剤

※ 在庫がなくなり次第、処方中止とします。

製剤変更医薬品

医薬品名〈旧製剤 ⇒ 新製剤〉	薬品分類
エパデールカプセル 300mg ⇒ エパデール S900mg	高脂血症用剤
ガスター錠 20mg ⇒ ガスターD 錠 20mg	H ₂ 受容体拮抗剤
セレジスト錠 5mg ⇒ セレジスト OD 錠 5mg	脊髄小脳変性症治療剤
メプチンエア-10μg ⇒ メプチン 10μg エア-100 吸入	定量噴霧式気管支拡張剤
コンクライト Mg 液 1mEq/mL ⇒ 硫酸 Mg 補正液 1mEq/mL	補正用電解質液
ネオパレン 1 号輸液 1000mL ⇒ エルネオパ 1 号輸液 1000mL	高カロリー輸液用製剤
ネオパレン 2 号輸液 1000mL ⇒ エルネオパ 2 号輸液 1000mL	高カロリー輸液用製剤

※ 旧製剤の在庫がなくなり次第、製剤変更とします。

名称変更医薬品

医薬品名〈旧製剤 ⇒ 新製剤〉	薬品分類
塩酸モルヒネ注射液「タケダ」10mg ⇒ モルヒネ塩酸塩注射液 10mg「タケダ」	アヘンアルカロイド系麻薬

※ 旧製剤の在庫がなくなり次第、名称変更とします。変更後は DO 処方が出来なくなるため、継続処方が必要な場合は再処方をお願いします。新製剤については「エンサン」でも「モルヒネ」でも検索できるようにします。

販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
クラビット錠 100mg(レボフロキサシン水和物) ¹⁾	広範囲経口抗菌製剤
グリセチン V 錠 125mg(グリセオフルビン) ²⁾	内服白癬治療剤
コンクライト Na 液 2.5mEq/mL(塩化ナトリウム) ¹⁾	補正用電解質液
スタドール注 2mg(ブトルファノール酒石酸塩) ¹⁾	鎮痛剤

1) 院内採用品目:在庫がなくなり次第、処方中止とします。

2) 院外採用品目:平成 22 年 3 月 31 日付で処方中止とします。

【新規採用医薬品】

*デュタステリド Dutasteride

【商】アボルブ Avolve GSK
内用：カプセル剤[㊟] 1カプセル中 0.5mg
[206.5 円/Cp]

【効】前立腺肥大症

【用】1回 0.5mg を1日1回投与する。

【禁】本剤の成分及び他の 5 α 還元酵素阻害薬に対し過敏症の既往歴のある患者、女性、小児等、重度の肝機能障害のある患者

【妊・授】禁忌 【小】禁忌

*テビペネムピボキシル Tebipenem Pivoxil

【商】オラペネム Orapenem 明治
内用：細粒剤 1g 中 100mg [580.9 円/g]

【効】肺炎、中耳炎、副鼻腔炎

【用】小児には1回 4mg/kg を1日2回食後に投与する。1回 6mg/kg まで増量できる。

【禁】本剤の成分によるショックの既往歴のある患者、バルプロ酸ナトリウムを投与中の患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者[#]

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、痙攣、意識障害、偽膜性大腸炎、急性腎不全、無顆粒球症、溶血性貧血、汎血球減少症、Stevens-Johnson 症候群、Lyell 症候群、間質性肺炎、PIE 症候群、重篤な肝障害、黄疸、低カルニチン血症に伴う低血糖

【低・新】未確立 【乳・幼】3歳未満：注意

*ミノドロン酸水和物 Minodronic Acid Hydrate

【商】ボノテオ Bonoteo アステラス
内用：錠剤[㊟] 1錠中 1mg [135.5 円/錠]

【効】骨粗鬆症

【用】1mg を1日1回、起床時に十分量(約 180mL)の水(又はぬるま湯)とともに投与する。服用後少なくとも 30 分は横にならず、飲食(水を除く)並びに他の薬剤の経口摂取も避けること。

【禁】食道狭窄又はアカラシア(食道弛緩不能症)等の食道通過を遅延させる障害のある患者、服用時に上体を 30 分以上起こしていることのできない患者、本剤の成分あるいは他のビスホス

ホネート系薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者、低カルシウム血症の患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【副】上部消化管障害、低カルシウム血症^{*}、肝機能障害^{*}、黄疸^{*}、顎骨壊死・顎骨骨髓炎^{*}

【妊】禁忌 【授】授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

*宮入菌

【商】ミヤ BM Miya-BM ミヤリサン
内用：細粒剤 1g 中宮入菌末 40mg [6.7 円/g]

【効】腸内菌叢の異常による諸症状の改善

【用】1日 1.5~3g を3回に分割投与する。

*アリスキレンフマル酸塩 Aliskiren Fumarate

【商】ラジレス Rasilez ノバルティス
内用：錠剤 1錠中 150mg [168 円/錠]

【効】高血圧症

【用】150mg を1日1回投与する。効果不十分な場合は、300mg まで増量することができる。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人、シクロスポリンを投与中の患者

【副】血管浮腫、高カリウム血症

【妊】禁忌

【授】回避、投与する場合は授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

*ミルタザピン Mirtazapine

【商】リフレックス Reflex 明治
内用：錠剤[㊟] 1錠中 15mg [169.3 円/錠]

【効】うつ病・うつ状態

【用】1日 15mg を初期用量とし、15~30mg を1日1回就寝前に投与する。1日 45mg を超えない範囲とするが、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として15mg ずつ行うこと。

【禁】本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者、MAO 阻害剤を投与中あるいは投与中止後2週間以内の患者

【副】セロトニン症候群、無顆粒球症、好中球

減少症、痙攣、肝機能障害、黄疸、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群

【妊】未確立、有益のみ

【授】原則回避、投与する場合は授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

*モメタゾンフランカルボン酸エステル

Mometasone Furoate

【商】アズマネックス Asmanex

シェリング・プラウ

外用：吸入剤(ドライパウダー)

1 瓶中 60 回分 (1 回 100 μ g) [2,547.2 円/キット]

【効】気管支喘息

【用】1 回 100 μ g を 1 日 2 回吸入投与する。1 日の最大投与量は 800 μ g を限度とする。

【禁】有効な抗菌剤の存在しない感染症・深在性真菌症の患者、本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者、結核性疾患の患者[#]

【副】アナフィラキシー様症状

【妊】未確立、有益のみ 【授】原則回避

【小】未確立

*ビマトプロスト Bimatoprost

【商】ルミガン Lumigan 千寿

外用：点眼剤 0.03% (2.5mL) [960 円/mL]

【効】緑内障、高眼圧症

【用】1 回 1 滴、1 日 1 回点眼する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】虹彩色素沈着

【妊】未確立、有益のみ

【授】回避、投与する場合は授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

*アクラルビシン塩酸塩

Aclarubicin Hydrochloride

【商】アクラシノン Aclacinon アステラス

注射：(●) 1 瓶中 20mg [3,995 円/瓶]

【効】①胃癌、肺癌、乳癌、卵巣癌、悪性リンパ腫 ②急性白血病

【用】①〈I 法〉1 日 40~50mg (0.8~1mg/kg) を 1 週間に 2 回、1、2 日連日又は 1、4 日にワンショット静注又は点滴静注する。〈II 法〉1 日 20mg (0.4mg/kg) を 7 日間連日ワンショット静注又は点滴静注後、7 日間休薬し、これを反復する。

②1 日 20mg (0.4mg/kg) を 10~15 日間連日ワンショット静注又は点滴静注する。

【禁】心機能異常又はその既往歴のある患者、本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者

【副】心筋障害、心不全、骨髄抑制、ショック*

【妊】有益のみ

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光

【製剤変更医薬品】

*イコサペント酸エチル Ethyl Icosapentate

【商】エパデル S Epadel S 持田

内用：カプセル剤 1 包中 900mg [152.7 円/包]

【効】①閉塞性動脈硬化症に伴う潰瘍・疼痛及び冷感の改善 ②高脂血症

【用】①1 回 600mg を 1 日 3 回毎食直後に投与する。②1 回 600mg を 1 日 3 回毎食直後に投与する。トリグリセライドの異常を呈する場合には、1 回 900mg、1 日 3 回まで増量できる。

【禁】出血している患者(血友病、毛細血管脆弱症、消化管潰瘍、尿路出血、喀血、硝子体出血等)

【妊】未確立、有益のみ

【授】回避、投与する場合は授乳回避

【小】未確立

*ファモチジン Famotidine

【商】ガスター D Gaster D アステラス

内用：錠剤(口腔内崩壊錠) 1 錠中 20mg

[59.3 円/錠]

【効】①胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、上部消化管出血(消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による)、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison 症候群 ②下記疾患の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善：急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期

【用】①1 回 20mg を 1 日 2 回(朝食後、夕食後又は就寝前)投与する。1 回 40mg を 1 日 1 回(就寝前)投与することもできる。上部消化管出血には注射剤で治療を開始し、内服可能になった後

は経口投与に切りかえる。②1回 10mg を1日2回(朝食後、夕食後又は就寝前)投与する。1回 20mg を1日1回(就寝前)投与することもできる。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、汎血球減少、無顆粒球症、再生不良性貧血、溶血性貧血、Stevens-Johnson 症候群、Lyell 症候群、肝機能障害、黄疸、横紋筋融解症、QT 延長、意識障害、痙攣、間質性腎炎、急性腎不全、間質性肺炎、不全収縮★

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

*タルチレリン水和物 Taltirelin Hydrate

【商】セレジスト OD Ceredist OD 田辺三菱
内用：錠剤(口腔内崩壊錠) 1錠中 5mg

[1,178.9 円/錠]

【効】脊髄小脳変性症における運動失調の改善

【用】1回 5mg を1日2回(朝、夕)食後に投与する。

【副】痙攣、悪性症候群、肝機能障害、黄疸、ショック様症状★、下垂体卒中★、血小板減少★

【妊】未確立、有益のみ 【授】有益のみ

【低・新・乳・幼・小】未確立

*プロカテロール塩酸塩水和物

Procaterol Hydrochloride Hydrate

【商】メプチン<エア> Meptin 大塚
外用：吸入剤 1キット 5mL

(1噴霧 10μg) [1,027.6 円/キット]

【効】下記疾患の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解：気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫

【用】成人1回 20μg(2吸入)、小児1回 10μg(1吸入)を吸入する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、重篤な血清カリウム値の低下

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳回避

【小】注意 【低・新・乳】未確立

*硫酸マグネシウム水和物

Magnesium Sulfate Hydrate

【商】硫酸 Mg Magnesium Sulfate 大塚
注射：液剤

0.5mol/L：1管 20mL (Mg²⁺：20mEq) [97 円/管]

【効】電解質補液の電解質補正

【用】電解質補液の電解質の補正用として、体内の水分、電解質の不足に応じて電解質補液に添加して用いる。

【妊】長期投与注意

【商】エルネオパ Elneopa 大塚
注射：液剤

1号：1袋 1,000mL

上室液(692mL 中)ブドウ糖 120g、塩化ナトリウム 2.22g、塩化カリウム 0.597g、乳酸ナトリウム 1.31g、リン酸二水素カリウム 0.688g、ヨウ化カリウム 0.083mg、チアミン塩化物塩酸塩 1.95mg、ピリドキシン塩酸塩 2.45mg、シアノコバラミン 2.5μg、パンテノール 7mg

小室 V 液(4mL 中)リボフラビンリン酸エステルナトリウム 2.3mg、アスコルビン酸 50mg、ビオチン 30μg、ビタミン A 油 1650 ビタミン A 単位、コレカルシフェロール 2.5μg、トコフェロール酢酸エステル 5mg、フィトナジオン 1mg

小室 T 液(4mL 中)塩化第二鉄 4.73mg、塩化マンガン 0.09895mg、硫酸亜鉛水和物 8.625mg、硫酸銅 0.624mg

下室液(300mL 中)L-ロイシン 2.8g、L-イソロイシン 1.6g、L-バリン 1.6g、酢酸 L-リジン 2.96g、L-トレオニン 1.14g、L-トリプトファン 0.4g、L-メチオニン 0.78g、アセチルシステイン 0.27g、L-フェニルアラニン 1.4g、L-チロジン 0.1g、L-アルギニン 2.1g、L-ヒスチジン 1g、L-アラニン 1.6g、L-プロリン 1g、L-セリン 0.6g、グリシン 1.18g、L-アスパラギン酸 0.2g、L-グルタミン酸 0.2g、塩化カルシウム水和物 0.294g、硫酸マグネシウム水和物 0.493g、酢酸カリウム 0.884g、ニコチン酸アミド 20mg、葉酸 0.2mg

[1,672 円/キット]

2号：1袋 1,000mL

上室液(692mL 中)ブドウ糖 175g、塩化ナトリウム 2.05g、塩化カリウム 0.746g、乳酸ナトリウム 1.65g、リン酸二水素カリウム 0.821g、ヨウ化カリウム 0.083mg、チアミン塩化物塩酸塩 1.95mg、

ピリドキシン塩酸塩 2.45mg、シアノコバラミン 2.5µg、パンテノール 7mg

小室 V 液(4mL 中)リボフラビンリン酸エステルナトリウム 2.3mg、アスコルビン酸 50mg、ビオチン 30µg、ビタミン A 油 1650 ビタミン A 単位、コレカルシフェロール 2.5µg、トコフェロール酢酸エステル 5mg、フィトナジオン 1mg

小室 T 液(4mL 中)塩化第二鉄 4.73mg、塩化マンガ 0.09895mg、硫酸亜鉛水和物 8.625mg、硫酸銅 0.624mg

下室液(300mL 中)L-ロイシン 4.2g、L-イソロイシン 2.4g、L-バリン 2.4g、酢酸 L-リジン 4.44g、L-トレオニン 1.71g、L-トリプトファン 0.6g、L-メチオニン 1.17g、アセチルシステイン 0.4g、L-フェニルアラニン 2.1g、L-チロジン 0.15g、L-アルギニン 3.15g、L-ヒスチジン 1.5g、L-アラニン 2.4g、L-プロリン 1.5g、L-セリン 0.9g、グリシン 1.77g、L-アスパラギン酸 0.3g、L-グルタミン酸 0.3g、塩化カルシウム水和物 0.37g、硫酸マグネシウム水和物 0.62g、酢酸カリウム 1.08g、ニコチン酸アミド 20mg、葉酸 0.2mg

[1,801 円/キット]

【効】経口・経腸管栄養補給が不能又は不十分で、経中心静脈栄養に頼らざるを得ない場合の水分、電解質、カロリー、アミノ酸、ビタミン、亜鉛、鉄、銅、マンガ及びヨウ素の補給

【用】1 号：経中心静脈栄養法の開始時で、耐糖能が不明の場合や耐糖能が低下している場合の開始液として、あるいは侵襲時等で耐糖能が低下しており、ブドウ糖を制限する必要がある場合の維持液として用いる。用時に上下 2 室の隔壁と上室内にある黄褐色及び赤褐色の小室を同時に開通し十分に混合して、開始液又は維持液とする。1 日 2,000mL の開始液又は維持液を 24

時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。

2 号：経中心静脈栄養法の維持液として用いる。用時に上下 2 室の隔壁と上室内にある黄褐色及び赤褐色の小室を同時に開通し十分に混合して、維持液とする。1 日 2,000mL の維持液を 24 時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。

【警】ビタミン B₁ 欠乏症と思われる重篤なアシドーシスが発現した場合には、直ちに 100～400mg のビタミン B₁ 製剤を急速静脈内投与すること。また、高カロリー輸液療法を施行中の患者では、基礎疾患及び合併症に起因するアシドーシスが発現することがあるので、症状があらわれた場合には高カロリー輸液療法を中断し、アルカリ化剤の投与等の処置を行うこと。

【禁】電解質代謝異常のある患者〔高ナトリウム血症の患者、高クロル血症の患者、高カリウム血症(乏尿、アジソン病、高窒素血症等)の患者、高リン血症(副甲状腺機能低下症等)の患者、高マグネシウム血症(甲状腺機能低下症等)の患者、高カルシウム血症の患者〕重篤な肝障害(肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれ等)のある患者、胆道閉塞のある患者、重篤な腎障害のある患者、アミノ酸代謝異常のある患者、本剤又は本剤配合成分に過敏症の既往歴のある患者、血友病の患者

【副】アシドーシス、ショック、アナフィラキシー様症状、高血糖

【妊】未確立、有益のみ

【授】未確立、原則禁忌、投与する場合は授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光